

なによりも「人間力」

奈良県 天理市立福住中学校 2年

藤尾 夏妃

「お年寄りのお話って、説得力あるわ。」

ある日母がしみじみと言いました。私の母は介護の仕事をしています。

「なんでそう思うん。」

「だって人生の大先輩やで、あの戦争をくぐり抜けてたくましく生きてきはったから、『人間力』があるやん。」

母の意見にいったん納得した私。でも「人間力」ってどんな力のことだろう。

気になったのでインターネットで検索しました。いろんなサイトの中で私が納得したのは、「人間力」とは、自立した一人の人間として、力強く生きていくための総合的な力である、というものです。説明によれば、人間力には五つの要素があるそうです。それは、体力、気力、知力、実践力、そしてコミュニケーション力です。体力や気力は基本的なことですが、五つの中で私に足りなくて、そして一番必要だと思ったのはコミュニケーション力です。今はスマートフォンやパソコンなどで絵文字を用いて会話をすることが多くなったせいか、最近の日本人は面と向かって話すコミュニケーション力が低くなっていると聞いたこともあります。

私は市のジュニアリーダーという組織に入っていて、キャンプファイヤーや校区の子供会のお手伝いなどを行っています。リーダーだけの研修会やイベントなども自分たちで企画して行います。そのため、これまでより人前で話すことがとても多くなりました。

私の校区は少子化が進み、中学生は全校で二十四人しかいません。最近地域の子供会もなくなってしまったので、他の校区のお手伝いによく行くようになりました。私はそこで、他のジュニアリーダーが、同世代以外の知らない人たちとも自然に会話をしているのを見て驚きました。今まで私は知らない人と話すのに苦手で、話しかけてもらう立場にいたからです。

ところが、最近は自分から話さなければならぬ場面が多くなりました。というのも、今年からジュニアリーダーの副会長になったからです。みんなの役に立ちたいと副会長に立候補したのですが、私はまだリーダーの中でもあまり目立たず、人を引っ張る力もありません。

そこで、前回の会長に、

「なんでそんなに人気あるん？」

と聞きました。すると、

「自分の好きなことをやってるから楽しくできるんや。好きで楽しいと思ってやってたら、夏妃もすぐ人がついてきてくれるよ。」

と励ましてもらい、うれしくなりました。それ以来活動がとても楽しくなって、いろんな

年代の人とも話せるようになりました。

私のコミュニケーション力は副会長という役割になって育ったものかなと思います。思い切って立候補してよかったと思いました。

ここからさらに人間力を高めるために必要なことは、何だろう。そう考えて私は、お互いにどういう人間か深く知ることではないかと思いました。コミュニケーション力を発揮して互いの体験や考えを交流し、お互いを理解し合う。幅広い年代の人と話せば、その分自分の考えも深まり、いいアイデアも生まれるのではないのでしょうか。

生き生きと介護の仕事をする母を、私はうらやましく思います。なぜなら、人生の大先輩と同じ空間で、多くのことをコミュニケーションによって教わりながら過ごしているからです。戦争で様々な苦難を乗り越え、たくましく生きてこられた方々は、人生の大先輩で、教えられることがいっぱいあるそうです。

私も母のようなコミュニケーションを大切にすることを仕事に就きたいと思います。コミュニケーション力が上がれば実践力や知力など、他の力も高まっていくことでしょう。皆さんもコミュニケーション力に磨きをかけて、これからの社会を一人の自立した人間として力強く、生きていきましょう。